

戦略的スキル管理ツール 「SSI-ITSS」の無償提供サービス 【Fast Track ITSS】とは



特定非営利活動法人 スキル標準ユーザー協会

SSI-ITSSの無償提供サービス 「Fast Track ITSS」とは

SSI-ITSS 無償提供サービスの概要



SSI-ITSS 無償提供事業サービス「Fast Track ITSS」とは？

スキル標準ユーザー協会会員が、「SSI-ITSS」のASPサービスを無料で利用できるサービスです

【サービスの条件、内容】

- ・利用はスキル標準ユーザー協会会員に限定する（正会員団体、準会員団体のみ）
- ・1企業200ユーザー以下に限定する（それ以上は超過分を年額で徴収する。料金テーブルは別ページ参照）
- ・機能はASPオリジナル機能に限定し、システムの機能拡張はしない
- ・無償提供期間は1年間とする

「Fast Track ITSS」の目的

- ・中小ITベンダー企業へのITSSの普及

大企業はITSSに関する取り組みを様々な形で進めているところが多いが
従業員200名程度の中小は導入～運営にかかる予算や、導入するきっかけが不足し
足踏みしている企業が多い。

まずは簡易的な形で導入してもらうための施策として「SSI-ITSSの無償提供サービス」を行う
また、大手企業に対しても部分的な導入（一部組織のみの導入）を可能とする

無償提供サービスの内容



スキル標準ユーザー協会



SSI-ITSS

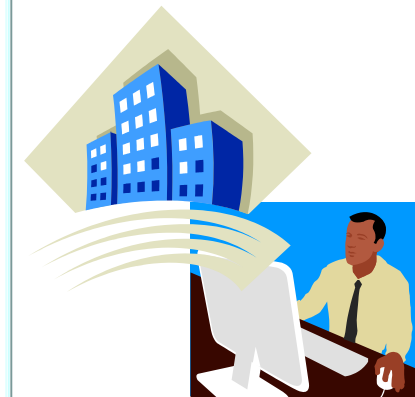
無償提供

- ・ASP環境の1年間の利用 (200名まで)
- ・操作ガイド(管理者、マネージャ、一般)
- ・研究員によるサポート(メール)
9:00-17:00、システム関連のみ。コンテンツに関しては対象外
- ・契約書の作成と締結

以下について初期費用が必要です (価格は10万円)

- ・導入企業へのヒアリング、対象領域の確認
- ・企業フレームワークとスキルの設定
- ・組織情報、社員情報のシステム搭載

会員企業



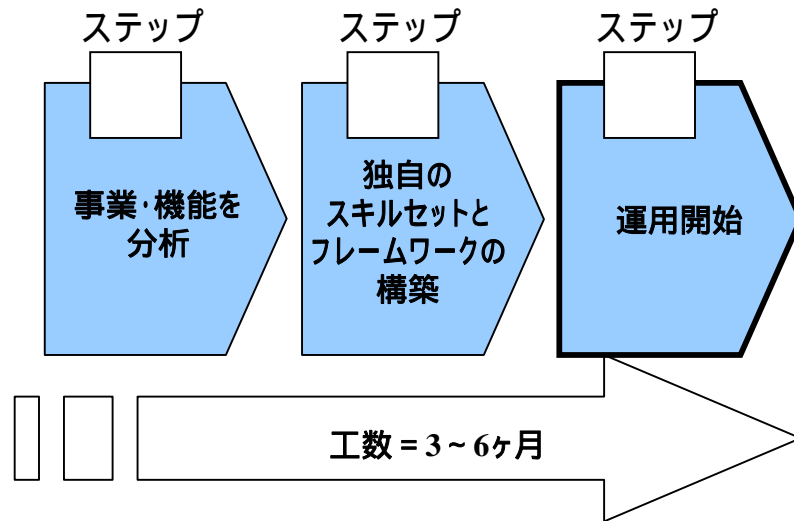
【サポートについて補足】

- ・メールサポートはツール関連の操作方法やトラブルのみ。
- コンテンツ(スキルの改変、フレームワークの変更等)は対象外とする
対象外のサポートについては、要望があった場合は有償サポートとする

- ・契約終了間際に継続の意思を確認。継続する場合はASP事業者との通常契約へ移行する。
- 無償提供時に利用していたデータはそのまま引き継げるが、その際の移行料金などはASP事業者個別対応

Fast Track ITSSの特徴

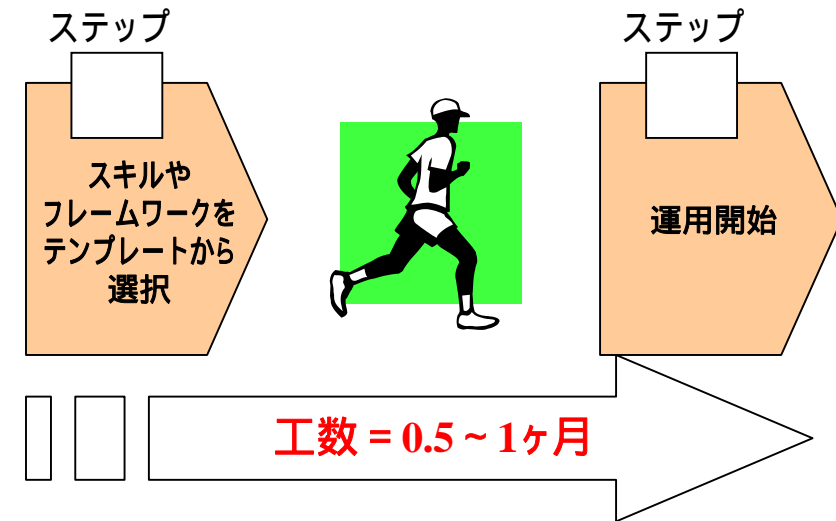
従来の導入ステップ



従来の導入ステップでは・・・

- ・導入自体に工数がかかる
- ・コンサルティングを受けたくても費用面で厳しい
- ・自社だけで導入すると失敗しないか不安

Fast Track ITSS



Fast Track ITSSでは・・・

- ・導入に時間をかけない
- ・無料なのでテストとしても利用できる
- ・実績のあるテンプレートを使える(以下の3つより選択)

1. 地方データセンターモデル
2. 地方情報システム子会社モデル
3. 小規模SIerモデル

Fast Track ITSS 導入の流れと その後の運用について



導入
手順

要求
分析

活動領域
分析

機能
分析

スキルセット
構築

人材モデル
策定

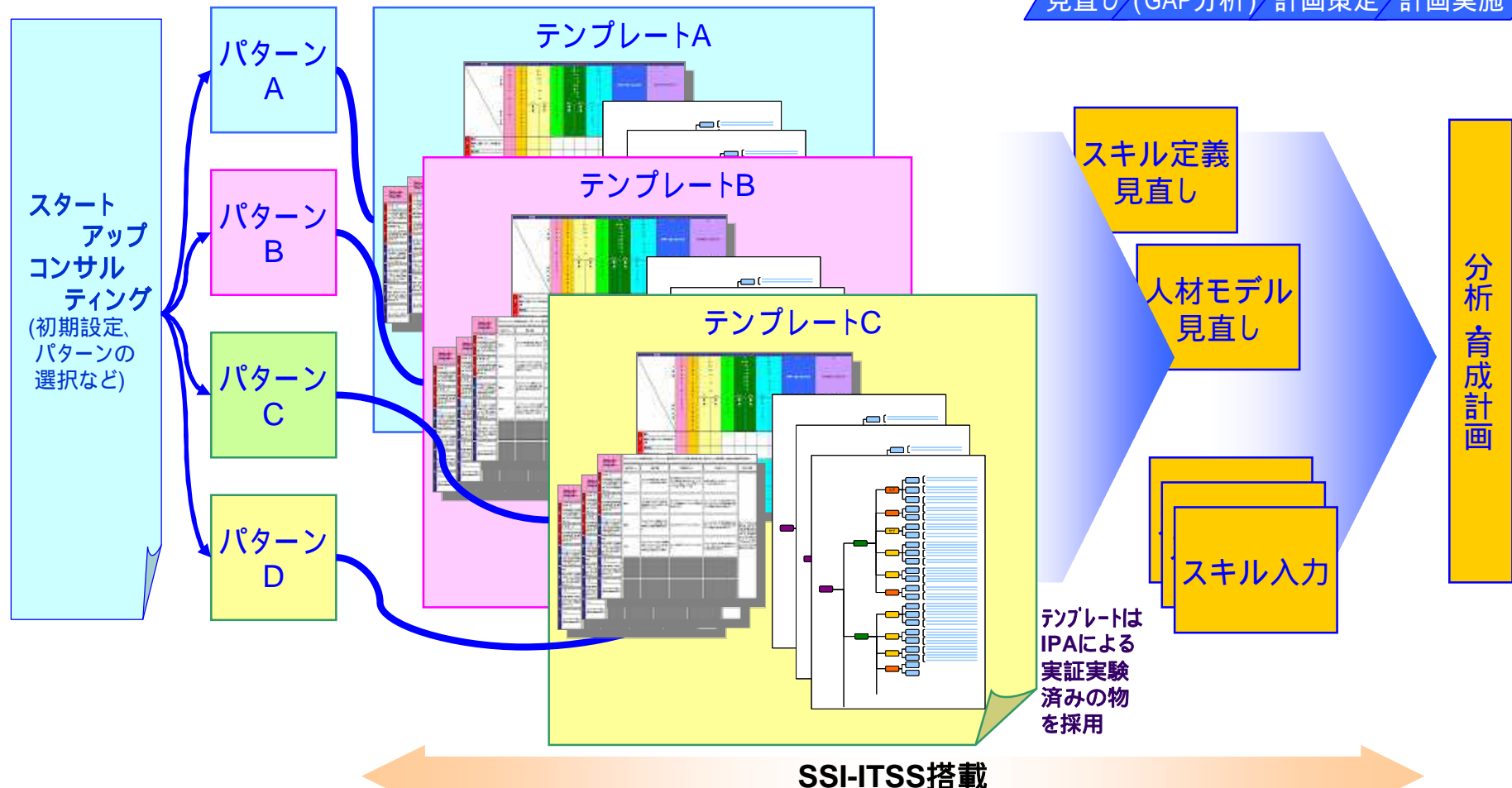
現状把握
ギャップ分析

人材育成
計画策定

人材育成
計画実施

Fast Track ITSS

定義
見直し
現状把握
(GAP分析)
人材育成
計画策定
人材育成
計画実施



(参考) 200名を越える場合のASP利用費用



金額は年額

追加人数 1名～100名 (合計201名～300名) 1名あたり 14,742円の追加
追加人数 101名～300名 (合計301名～500名) 1名あたり 13,923円の追加
追加人数 301名～800名 (合計501名～1000名) 1名あたり 13,104円の追加
追加人数 801名～1800名 (合計1001名～2000名) 1名あたり 11,466円の追加

「SSI-ITSS」とは？

SSI-ITSSとは

「SSI-ITSS」はNPO法人 スキル標準ユーザー協会が開発した「ITスキル標準」対応の、企業およびIT技術者の為の戦略的スキルマネジメントツールです。

SSI-ITSSは、オンデマンドアプリケーションです

- ・ITSSに沿ったスキル定義を持つ
- ・ITSSにはない業界、業務、要素技術、個別技術などのスキル定義を持つ
- ・上記2種類のスキル定義は、スキル標準ユーザー協会(スキル定義委員会など)がメンテナンスしていく
- ・ユーザーのビジネス形態から、必要なスキルを選択する機能を持つ
- ・ユーザーのビジネス形態から、不足しているスキルを追加できる機能を持つ
- ・人材育成の継続性を考慮し、スキル定義項目に対して個々のスキルデータを蓄積していく、インベントリー型のシステムである
- ・ITSSのキャリアフレームワークにスキルデータをマッピングして可視化する機能を持つ
- ・企業独自のキャリアフレームワークを複数個作成する機能を持つ
- ・独自キャリアフレームワークにスキル条件を設定する機能を持つ
- ・独自キャリアフレームワークにスキルデータをマッピングして可視化する機能を持つ

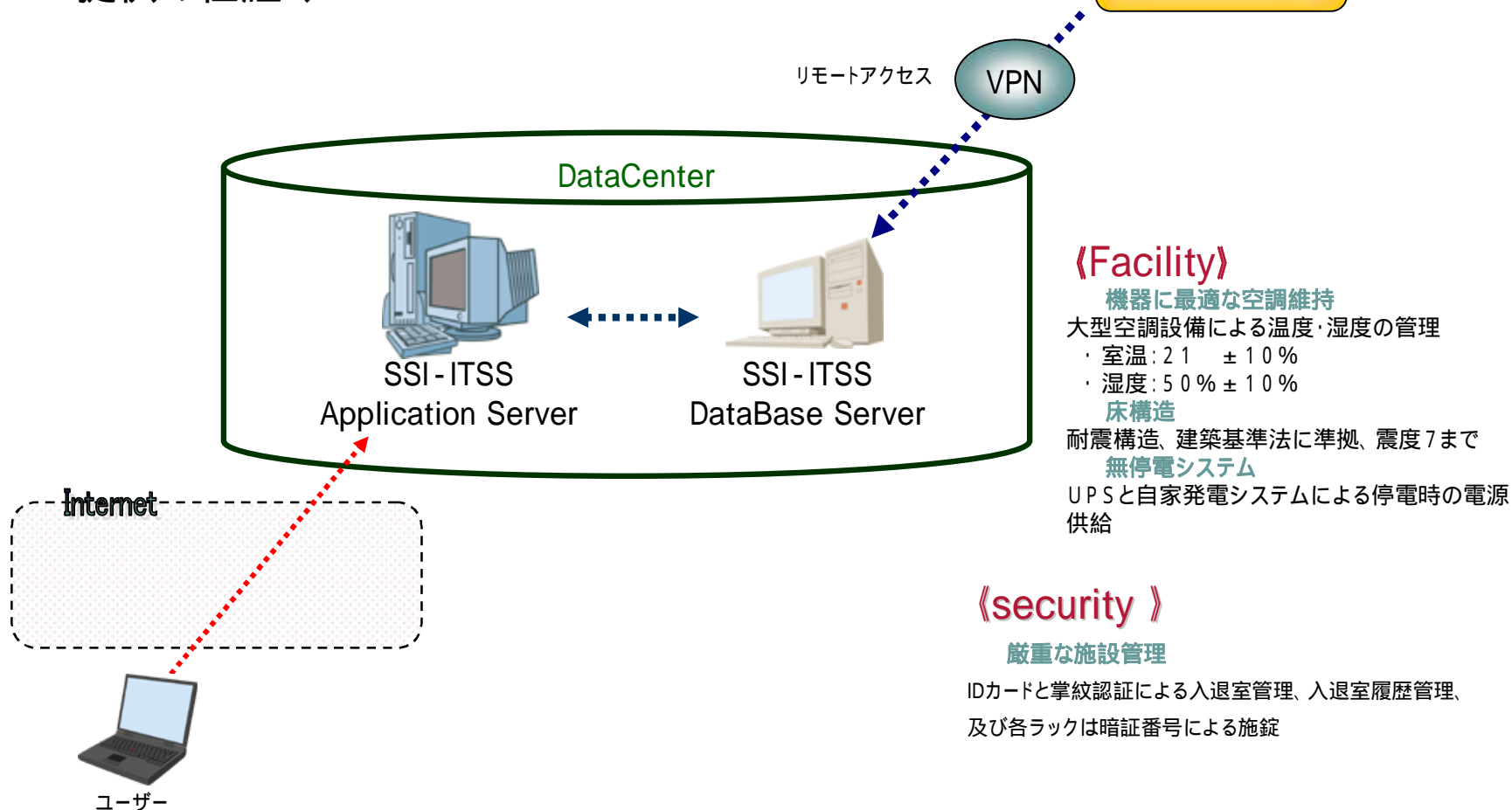
SSI-ITSSはASPでの提供と パッケージ販売での提供が可能です



ASP提供の仕組み

Fast Track ITSSの
パッケージ提供はございません

協会認定
ASP事業者



SSI-ITSSの導入実績



株式会社リクルート、関西電力株式会社、三菱UFJ証券株式会社、
アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)、ヤンセンファーマ株式会社、
プロミス株式会社、キムラユニティー株式会社、
株式会社ワイ・ディ・シー、京セラコミュニケーションシステム株式会社、
T&D情報システム(大同生命・太陽生命)、株式会社インフォセンス、
住友化学システムサービス株式会社、株式会社CMC Solutions、
株式会社日立製作所、日立電子サービス株式会社、
キーウェアソリューションズ株式会社、
株式会社日本コンピュータコンサルタント、株式会社システムハウスなど

約50社が採用し継続活用中

総利用ユーザー数 15,374名 (2009年5月現在)